

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和二年七月一日発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー③】

『弓張月・一』江戸時代の読本作家、滝沢馬琴作「椿説(ちんせつ)弓張月」に、源為朝の妻白縫(しらぬい)が讃岐の琴弾八幡宮を参詣したおかげで夫の仇討ちを果たすことができたという話があります。

為朝が京の戦いに敗れた時、九州太宰府の館を守っていた白縫は召し使い八人と船で漂泊したのち観音寺村に隠れ住み、夜毎に琴弾八幡宮へ参拝し夫の無事を祈っていました。

一方京では、敗れ傷ついた為朝が家来の藤市(とういち)の家に身をひそめたのですが、藤市の

甥の武藤太(ぶとうた)が「為

朝を捕らえた者にはほうび

をとらす」というおふれに目

がくらんで密告したため為

朝は捕らわれて島流しにさ

れてしまいました。

これを聞いた藤市は、「何



と言ったことをしてくれた」と嘆き、首をつって死んでしまいました。村人たちからも人でなしと言われて居づらくなつた武藤太は、手下二人と西国へ落ちました。……八月号へ続く……

(参考資料)

- ・四国かんおんじ ガイドブック
 - ・全訳 椿説弓張月 丸屋おけ八訳
 - ・日本古典文学大系60
- 椿説弓張月 上 岩波書店刊行

「いいまちづくり観音寺輝き隊通信」のバックナンバーを見ることが出来ます



<https://kagayakitai.amebaownd.com/>

◆公園清掃日について◆

毎月第1月曜日午前八時～九時
今月の清掃日は7月6日です。

琴弾公園の池付近に集合

みんなでいい汗を流しましょう。

※お問い合わせ080-13211-1962
観音寺市商工観光課・生活環境課承認済

【琴弾公園クイズ⑬】

琴弾公園のドライブウェイは昭和28年、香川県で国体が開催された時に市内で「ある競技」が開かれその記念に作られました。この競技とは何でしょう？

- ①自転車競技
- ②マラソン競技
- ③棒高跳び



今回登場した「弓張月(ゆみはりづき)」は江戸時代に日本で刊行された読本の名前ですが、弓張月の本来の意味は半月のことです。ちょうど弦をぴんと張った状態の弓のように見えるからなのですが、こういう言葉に出会うと本当に日本語は美しいな、と感じます。月の呼び方も、満月の次の日は「十六夜」そこからだんだんと月の出の時刻が遅くなつてきて十七夜は立つて待つていけば出てくる「立待月」、次の日になるとちよつと座つて待たないと疲れてしまう「居待月」、その次はもつと疲れるから「寝待月」。ユーモアも感じられてとても素敵ですね。(M)

◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高める」ことを主な目的にしている小さなボランティア団体です。歴史的なものを見直し、郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。

